

森喜朗東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長の

女性蔑視発言に抗議し辞任を求める決議（案）

森喜朗東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長（以下「森会長」という。）が、「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」と発言したとの報道がされた。謝罪会見においても、自らの発言内容やジェンダー平等に関して、認識を改める旨の発言が見られなかったことは、大変遺憾である。

ジェンダー平等は東京 2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京大会」という。）の基本的原則のひとつであり、今回の発言がオリンピック憲章に反することは明白である。東京都議会としても、普遍的な人権課題として取り組んでおり、森会長から偏見に基づく女性蔑視の発言があったことは、極めて深刻な問題であり、看過できない。

ジェンダー平等が世界的潮流である今日、国内外で批判の声が広がる中、森会長が会長の職にとどまることを看過することは、東京大会の価値をおとしめ、女性差別に対する東京都議会の見識すら問われかねない事態である。

よって東京都議会は、森会長の女性蔑視発言に強く抗議するとともに、会長の職を辞するよう求めるものである。

以上、決議する。

令和3年2月 日